



「ゆるキャラグランプリ 2013」の最終順位は 1580 体中 155 位だったこぼ〜。皆さん投票してくれてありがとうございます。でもちょっとやさしかったこぼ〜。今年もよろしくこぼ〜。

柳川市マスコットキャラクター「こぼりー」



最後に正月らしい飾りを付ければ完成

新年を「花やか」な気持ちで

豊原女性部会 寄せ植え

豊原女性部会は 12 月 15 日、豊原小学校の体育館で寄せ植えを行いました。新年を前にした時期に毎年行っているこの催しは今年で 3 回目。今回は、同会の会員約 80 人が参加しました。参加者は、市内で花屋を営む村上和広さんの指導の下、シクラメンやデイジー、ピオラなど 10 種類の植物をバスケットに寄せ植え。同会の三小田真弓会長は「皆さんここで作った寄せ植えを玄関などに飾っているんですよ」と笑顔で話しました。

ネット越しの攻防に会場が熱気

市 9 人制バレーボール大会

市 9 人制バレーボール大会兼第 31 回榎谷杯バレーボール大会が 12 月 8 日、市民体育館で催されました。市内や筑後市、荒尾市、佐世保市などから男女合わせて 13 チームが出場。全国大会の出場経験がある強豪チームも参加し、白熱した試合を繰り広げました。市内の入賞チームは次のとおりです。

【女子の部】優勝 = Sprion クラブ、準優勝 = 柳川クラブ



力を込めてこん身のスパイク



参加者にバッティングの手本を見せる松田選手

市民のひろば

身近な話題などお知らせください！
情報をお待ちしています

憧れの選手から野球指導

市中学生野球教室

ソフトバンクホークスの松田宣浩選手と野球解説者の若菜嘉晴さんを講師に迎えた野球教室が 12 月 14 日、市民大和グラウンドで開催されました。教室には、市内の中学校の野球部や野球チームから選手や指導者など 220 人が参加。参加者は、憧れの選手からキャッチボールやトスバッティングなどの指導を受け、体の使い方などの説明を熱心に聞き入っていました。松田選手から指導を受けた参加者は「打球の音が全然違った。あんな打球を飛ばせるように練習します」と話していました。

アジアの文化に触れ児童に笑顔

三橋公民館けやき学園でアジアの文化を体験

三橋公民館は生涯学習事業を行うけやき学園で 12 月 14 日、アジアの文化を体験するふれあい学校外活動を催しました。今回は九州国立博物館の文化体験型展示室「あじっば」にあるアジア各国の遊具や楽器、衣装などを体験。参加した 22 人の児童とその保護者は、中国のこまやインドネシアの楽器アングルン、日本の琴に触れたり、韓国の民族衣装チマチョゴリなどを試着したりして楽しみました。参加した児童は「韓国やモンゴルの民族衣装を何着も試着できて楽しかったです」と話しました。



民族衣装や遊具でアジアの文化を体験する児童

新のり求めて大盛況

第 2 回両開漁協「新のりフェア」

両開漁協主催の「新のりフェア」が、12 月 7 日と 8 日に同漁協組合事務所前で開催されました。これは、有明海で採れた福岡のりを広く PR しようと、昨年からはじまったイベント。会場では、乾のりや焼のり、のり佃煮、地元野菜などが販売された他、おにぎりの無料配布、巻き寿司づくり体験などが行われました。10 枚入りの焼のりを 30 袋も購入した人は、「関東にいる親戚に柳川のりを食べてもらおうと買いました」とのりでいっぱいになった袋を両手に抱えて話しました。



来場者はたくさん新のりを買って求めている

水も人も
キラリ

川柳

踏み出そう心のバネはまだ若い

石川百合子(材木町)

立ったまま靴下ははけたのにいつしか硬くなってしまった身体。そつえば硬くなったのは心もそう。あのころはきつと許した出来事も今は小さなわだかまりとして残る。「若い」ということは心身ともに、と気づいた新春。心はいつも若竹のように。流青

応募総数 182 句

左義長や遠くに弾く竹の音
若人の希望満ちたり春は来ぬ
塞翁が馬のいななき初日の出
南天の杖握りしめ餅踏む子
幼児のたもとを揺らす春の風
どんどこ火で鏡餅焼く子らの笑み
ずっしりと夢を背負った初暦
老いの春せめて靴下新しく
級友の一句をいつも待つ年賀
門口に小さき根付きの松飾
順番に今年の抱負語り合う
子らの手で守り続けるどんと焼き
父老いて家風は曲げず謡初
悲しみも心の糧に年迎え
惜しむ日と期待重なる年迎ふ
初春の屠蘇に願いを込めて飲む
新春は耳をすますと鈴の音
年が明け真つ赤な神様初日の出
春になり心の中に桜まよう
かねの音とともにふり返る一年間

川柳を募集しています。選句者は梅崎流青さん。2 月の課題は「続く」です。入選作品は 2 月 1 日号に掲載します。
●応募方法 川柳と明記し、自作、未発表の作品(※1 人 3 句以内)に、住所、氏名、電話番号を書いて、ハガキかファクスマまたは直接、柳川庁舎企画課広報係(☎77・8425、FAX74・5520)へ、1 月 15 日(必着)までにお送りください。
流青

東京へ続く線路がそそのかす

流青